

# 第4回御船ジュラシックトレイル 感染症対策マニュアル



100人  
ウェーブ  
スタート

ゼッケン  
事前  
郵送

令和4年6月23日更新

※内容は情勢の変化により変更する場合があります

## (1) 開催条件

- ・開催地である熊本県および御船町において、**イベント自粛要請が発せられていないこと、**もしくは開催当日までに解除になる見込みが明らかであること。

## (2) 中止または延期の判断

- ・開催条件を満たさない場合、大会の中止または延期を判断する場合がある。決定事項は大会webサイトにて迅速に参加者に案内する。

## (3) 中止の際の参加費の取り扱い

- ・大会を中止する場合、参加費の返金有無および参加賞の取り扱いは物品の手配状況などを勘案した上で決定し、参加者に案内する。

## (4) 感染拡大地域の参加制限

- ・感染拡大が顕著な地域については参加をお断りする場合がある。参加をお断りする場合の参加費の取り扱いは「(3) 中止の際の参加費の取り扱い」に準じて決定し、対象者に案内する。

## (5) 健康観察シートの提出

- ・事前に案内するの**健康観察シート**に下記を記載の上ご持参頂く。

①ゼッケンNo.・氏名

②大会前1週間における以下の事項の有無

－体調不良（発熱、咳、のどの痛み、だるさ、嗅覚や味覚の異常等）

－新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触

－同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる

－過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を

必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある

※上記のいずれかに該当する場合は大会に参加できないが、その後にPCR検査で陰性が証明された場合は参加することができる。

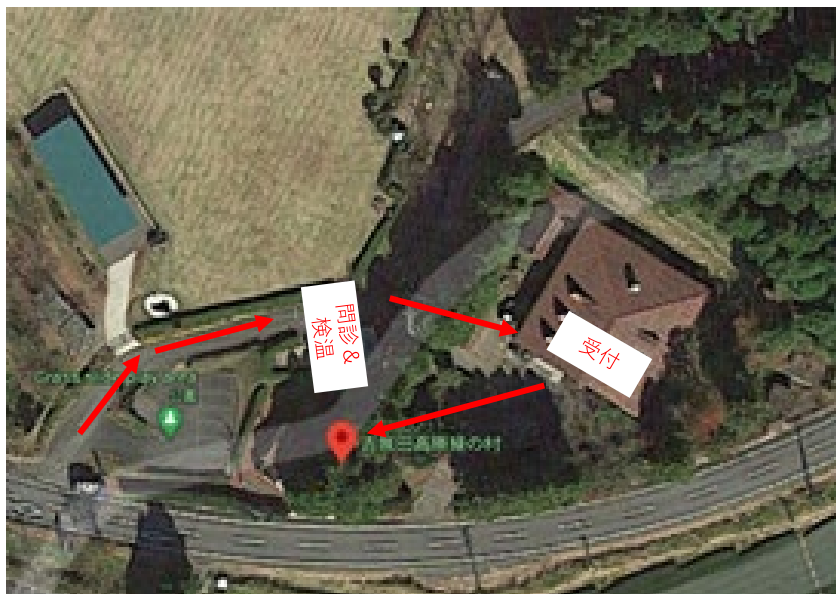
## (6) 大会中および大会後

- ・**マスクやバフ等の口を覆うものを持参・携帯**し、走行時以外は常に着用すること。
- ・**こまめな手洗い**、アルコールによる手指消毒を行うこと。（特にトイレ後は念入りに）
- ・他の参加者やスタッフ等との距離をできる限り**1m以上**確保すること。
- ・大きな声で会話、応援等をしないこと。
- ・感染防止のために主催者が決めたその他のルールを守り、その指示に従うこと。
- ・**大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、事務局に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。**

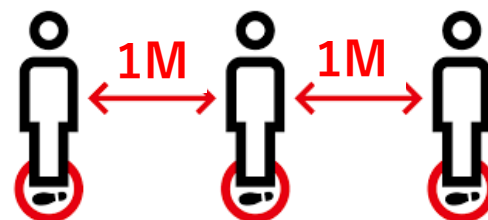
## (7) 受付

- **ゼッケンは予め郵送**し、当日の受付は健康観察シート提出と参加賞受け渡しのみに簡略化する。
- 受付会場の入口に消毒液を配置し、手指を消毒した選手のみ受付に進むことができる。
- 受付前にスタッフによる検温を行う。**37.5℃**以上の発熱がある選手は出走できない。
- スタッフによる検温は**非接触型体温計**を使用する。
- 参加者が距離を置いて並べるよう地面に目印を設置する。
- 更衣室や待機スペースは用意しない。参加者は予め着替えてくるか、自分の車等を使用すること。

### ▼受付レイアウト



※受付にはフットサインを引き、受付列の間隔をとります。

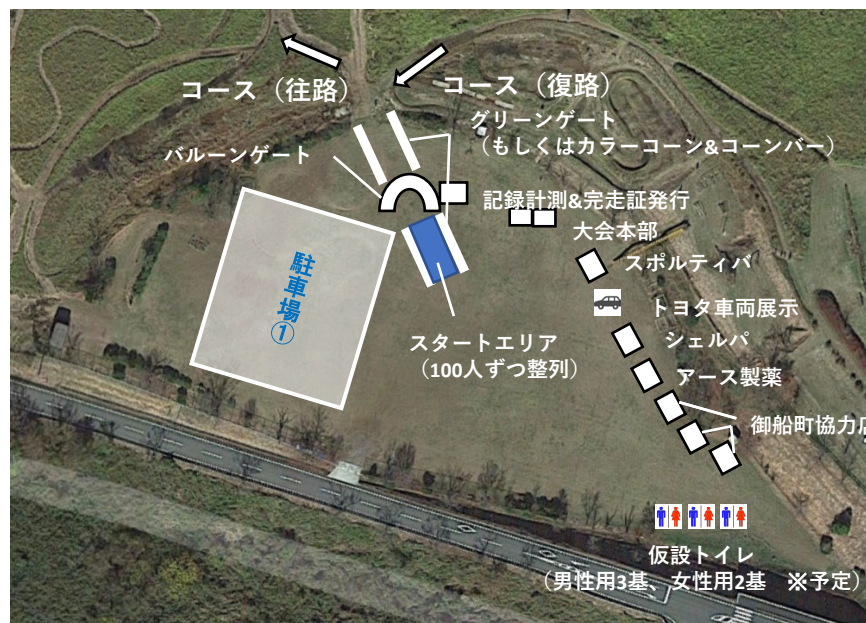


100人  
ウェーブ  
スタート

## (8) スタート時

- ・ **開会式および集合写真撮影は行わない。**  
※競技説明など必要事項は事前の資料送付および受付会場でのアナウンスに代える。
- ・ ゼッケンNo.が若い順に100名ずつ2分おきのウェーブスタートとする。後発の選手は密にならないよう周辺で待機し、前の組がスタートしてからスタートレーンに並ぶ。
- ・ 事務局はエントリー時に登録した想定ゴールタイムが早い順にNo.を割り振る。
- ・ **スタート直前までマスク**等で口を覆い、周囲の選手とできるだけ**1m以上**間隔を空ける。

### ▼スタートレイアウト



## (9) 走行中

- ・周囲の選手とは少なくとも**1m**以上間隔を空けて走行する。
- ・**追い抜く時およびすれ違う時はできる限り1m以上**間隔を空ける。追い抜く人は予め前走者に声をかけ、両者が協力して間隔を保つ。
- ・唾や痰を吐く行為は極力行わない。
- ・口をつけた飲料等を走路上に捨てない。

## (10) エイドステーション

- ・エイドには**消毒液**を設置し、到着した選手は消毒をしてから飲食を行う。
- ・飲食物を提供するスタッフはマスク等とビニール手袋を着用して活動を行う。手袋は作業が終了したら速やかに所定のごみ箱に捨てる。
- ・補給食は選手一人ずつ小皿に取り分けたものか個包装のものを提供する。
- ・応援者の立ち入り及び私的サポート（飲食物の提供やマッサージなど）は禁止。

## (11) フィニッシュ時

- ・完走証を発行するスタッフはマスク等を着用し、こまめに手をアルコールで消毒する。
- ・表彰式は簡易的に行う。（参加者の集合を求めない）
- ・大きな声での声援やハイタッチなどの接触はしない。
- ・フィニッシュ後の選手はマスク等を着用して休憩する。

## (1 2) 飲食ブース

- ・メイン会場に設置する飲食ブース（テント）の椅子の数を通常の半分とし、密集を回避する。
- ・テーブルごとに消毒用アルコールを設置し、ブース使用者に消毒を促す。

## (1 3) 救護

- ・救護担当者が処置をする際は、その前後に必ず手を洗うかアルコール等で消毒する。  
(処置を受けた選手はその時点で失格)
- ・リタイア選手回収車両は座席に間隔を空け、また十分な換気をした状態で走行する。

## (14) スタッフ

- 大会当日に選手と同等の**健康観察シート**を提出する。体調不良など不適當な事項がある場合は無理せず参加を見合わせる。
- **大会中は常にマスク等**を着用し口を覆う。マスクは各自で持参する。
- 活動を始める前、終了後は必ず手を洗うかアルコール等で消毒する。
- 各エリアの責任者は本マニュアルの対策が守られているかチェックリストを用いて随時確認し、複数の人が触れると考えられる場所（トイレのドアノブやレバーなど）はこまめに消毒する。
- WSスタッフはビニール手袋を着用する。終了後は速やかに廃棄する。
- スタッフ同士及び選手とは**1m**以上間隔を空ける。握手やハイタッチなどの接触は禁止。
- スタート／フィニッシュ地点およびWSは予備の使い捨てマスクを設置する。  
ただし止むを得ない場合を除き、参加者およびスタッフへの提供はしない。

## (15) 一般応援

- 送迎など特に必要な場合を除き、スタート／フィニッシュ地点およびエイドには立ち入らない。
- コース上での応援は禁止しないが、その際はマスク等で口を覆う、選手との間隔を1m以上空ける、大声を掛けないなどの感染防止マナーに協力をお願いする。
- 体調不良など感染を疑わせる事情がある場合は来場を禁止する。
- 路上駐車など地域の迷惑となる行為は固く禁止する。